



津山
だいすき!

わたしも
ひびくと

津山の
キャラクター
グッズを作って



気持ちのいいものです。今後
もこのような対応をお願いし
ます。(高野山西・男性)

素早い対応
「早くの課」
気持ちこころ

「市政への意見」として、グ
リーンヒルズ津山エントラ
ス広場のレンガブロックの整
備をお願いしました。樹木の
根が生長し、レンガブロック
を押し上げる形で、凸凹にな
っていたのです。夏には予ご
もたちが裸足で遊ぶ場所。こ
のままでは危ないと思い、は
がきを出したのです。その後
ブロックはすぐに整備されま
した。「すぐやる課」といつ
てもいい素早い対応は本当

旅行のお土産にその地のキ
ャラクターグッズをよく買っ
て帰りますが、津山にはこれ
ほどカッパのごんごくろがな
じんでいるのに、キャラクター
グッズがありませんね。町おこ
しの一つとしてグッズを作っ
て売り出せばどうでしょう
か？(下高倉西・女性)
津山のキャラクターグッズ
については、以前業者に見積
もりをお願いしたところ、現
状の観光客数では採算が合わ
ないとされた経緯があります。
その中で今、注目を集めて
いる観光資源に、津山駅や因
美線沿線の鉄道遺産がありま
す。「みまさかローカル鉄

道」として、人気の観光スポ
ットとなりつつあり、JRと
提携販売した旧津山扇形機関
車庫にある日本唯一の「DE
501型機関車」のチョロQ
は、市内でしか手に入らない
物で、なかなか好評です。
観光地としてのイメージア
ップには、市民の皆さんの協
力が不可欠です。今後ともご
意見など、お聞かせください。
問い合わせ先 観光振興課
32・2082

津山の
知恵袋
アメリカには「津山の日」がある
市の友好交流都市アメリカ
ニューメキシコ州サンタフェ市は、
2006年から4月15日を「津山の
日」と定めています。

未来をひびく 津山人

「津山が好き」の思い一つに

「鶴山を考える会」会長 河本 義登さん



毎年、中秋の名月に合わせて鶴
山公園で行われる「観月と邦楽
の夕べ」。今回は、このイベン
トを主催する「鶴山を考える

会」会長の河本義登さんにお話
を伺いました。
今年で10回目になりますね。
「鶴山を考える会」は、津山の
シンボルである鶴山公園をどの
ように有効活用していくかを考
える会として、平成10年に発足
しました。市民の誇りであり、
多くの人が愛着を持つ鶴山公園。
その有効活用を1人でも多くの
市民の人たちと考え、それぞれ



わたしのおすすめ

市民オーケストラ、再び!

市民オーケストラメンバー
秋久 正則さん(沼)
神田 恵子さん(小田中)



昨年の秋、第7回津山国
際総合音楽祭の開催で気運
が盛り上がっていたのを機
に「音楽都市・津山に再び市民オーケストラを
!」と、市周辺の音楽愛好家有志がメンバー募集
に動き出しました。市民オーケストラは、昭和52
年に結成され、定期演奏会などの活動をしてい
ましたが、平成2年の演奏会を最後に活動を停止
していました。当時のメンバーの「また津山に市
民オーケストラをつくりたい」という思いが実っ
たのです。

16年ぶりに再結成した新しい市民オーケストラ
の指導者は、くらしき作陽大学音楽学部指揮専修
卒業の萩原勇一さん。萩原さんとの出会いが無け

れば、この再結成は無かったかもしれません。
人との出会いの大切さや不思議さを感じながら、
メンバー募集のチラシ張りなど、協力してくださ
ったさまざまな人には本当に感謝しています。
オーケストラの醍醐味は、もちろん、皆で演奏
するところにあります。皆の力を借りて、自分も
思わぬ力が出てきます。皆で一つの音を奏でるこ
の楽しさは、津山の文化として残していかなけれ
ばならないと思っています。興味のある人は遠慮
なく、練習会場をのぞいてくださいね。

一緒に楽しく演奏しましょう

とき 月2回 金曜日
午後7時30分～9時30分
ところ 津山文化センターほか
会費 月1,000円(学生は500円)
問い合わせ先 津山文化振興財団
24-0201、夜間22-9552



の世代に合った津山城跡として、
後世に残していきたいと思っ
ています。その活動の一つとし
て「観月と邦楽の夕べ」を毎年企
画しています。
大変趣のあるイベントですね。
派手さはありませんが、日本
古来の伝統文化を継承してい
くという点では、なかなかほか
は見られないものだと思います。
今では、お月見を家庭で
している人は少ないでしょう。
でも、秋の風物詩として、若い
人たちへ伝えていきたい大切な
文化ですよね。「鶴山公園II
桜」だけじゃない、秋のイベン
トとして考えました。
後世に伝えたい日本の伝統文化
と津山城跡。ぴったりの組み合
わせですね。
今年の「観月と邦楽の夕べ」
は9月14日(日)に予定してい
ます。昨年とはまた違った企画
も考えていきたいですね。
これからの目標は?
会員の拡大です。現在、会員
は50人ほどで、20歳代から70歳
代まで幅広い年齢層になってい
ます。女性も多く、まさに老若
男女の集まりです。
昨年は、茶道裏千家淡交会青
年部のご協力のもと、美作大学

茶道部の皆さんに参画してもら
いました。学生時代を過ごした
まちは「第二のふるさと」。そ
の思いや若い感性は大変参考に
になりました。この会で活動する
と、幅のある人間関係を築いて
いくことができると思います。
いろいろな世代の人の意見を参
考に進めていきたいですね。
「鶴山を考える会」は津山が
好きな人の集まり。ほかにも、
津山の歴史の勉強会や、津山と
つながりのある他都市を訪問し、
市民レベルでの交流も行ってい
ます。興味のある人は一緒に「鶴
山」を考えていきましょう。
9月の開催に向けて準備が始ま
ります。参加希望の人は、津山
青年会議所事務局 22・671
3までご連絡ください。

